MS シュレッダー

取扱説明書

MSV-D22C

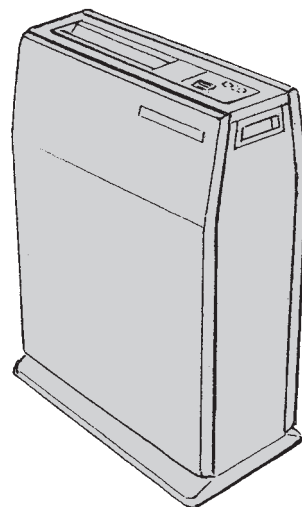
このたびは MSシュレッダー をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、いつまでもご愛用くださいますようお願い申し上げます。
この取扱説明書は大切に保管してください。

1. ご使用の前に

2. ご使用方法

3. 安全機能

4. こんなときには

株式会社 明光商会

製品の仕様

商品名・形式	MSシュレッダー MSV-D22C
投入幅	220㎜
細断寸法	2.3×16.0㎜
細断方式	ワンカットクロス
最大細断枚数 A4 PPC紙（50Hz／60Hz）	約10／9枚
定格細断枚数 A4 PPC紙（50Hz／60Hz）	約6／5枚
細断速度（50Hz／60Hz）	約4.3／5.3m／分
定格時間	30分
電源	AC100V 50／60Hz
消費電力	220/220W
待機消費電力	約 0W（使用5分後）
大きさ（W×D×H）	450㎜×250㎜×600㎜
質量	約 20kg
細断可能物	PPC紙等の紙

※最大細断枚数は、電圧、紙質、湿度等にて変動します。

保証・サービスについて

1. 保証書は、内容をご確認の上、保管してください。
2. 保証期間中に、正常な使用状態で、万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき「無償修理」いたしますので、お求めの販売店にご照会ください。
3. 修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みの上、なお異常のあるときは、(保証期間中の場合は保証書をお示しの上)、販売店にお申し出ください。

◎修理を依頼される場合は、保証書に記入されている販売店へ下記の項目をできるだけくわしくご連絡ください。
尚、(2) ～ (4) については保証書をご覧ください。
(1) 故障状況 (2) 機種名 (3) 製造番号 (4) ご購入年月日

お問い合わせ及びMSパックのご注文は下記へご連絡ください。

支店・営業所名 または販売店様名	
住所	
電話番号	

1-1. 安全に正しくお使い頂くために

この取扱説明書及び製品では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠ 記注意事項を示します。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は規制、要請事項を示します。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

1. 乳幼児・お子様はシュレッダーに近付けないで下さい。
   けがや感電など、思わぬ事故の恐れがあります。

2. 投入口や排出口には指や手を入れないで下さい。
   機械に内部にはカッターがあり、けがの原因となることがあります。

3. 髪の毛、ネクタイ、ネックレス、着衣のそで、ブレスレット、カードホルダーなどを投入口にたらさないでください。
   引き込まれてけがの原因になることがあります。

4. ご自分での分解・改造・修理はしないでください。
   けがや感電などの原因となる恐れがあります。

5. 機械内部へオイル・スプレーを使用しないでください。
   可燃性のガスにより、引火・爆発を起こす恐れがあります。

6. ボタン電池等の電池類は投入細断しないでください。
   火災の恐れがあります。

7. 電源コードを傷つけたり、加工等はしないでください。
   また重いものをのせたり、無理に引っぱったり、曲げたりすると電源コードを傷め、火災や感電の恐れがあります。
8. 以下の場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社もしくは保守サービス会社に連絡ください。
   - 発熱・発煙・異臭など、異常な状態になった場合。
   - 異物（金属片、水、液体など）が機械の内部に入った場合。

   けがや感電・火災の恐れがあります。

9. 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
   感電の恐れがあります。

4-1. 故障かな？ と思ったら

症状	ここをチェックしてください	参照ページ
1. 投入口に紙を入れても機械が動かない 「スタート/復電 ◈ スイッチ」を押してもカッターが回らない	■元電源が切れてませんか	–
	■電源プラグがコンセントから抜けてませんか	–
	■メインスイッチが「OFF」になっていませんか。	5
	■オートカットが作動していませんか	9
	■省電力モードになっていませんか	6
	■とびらが開いていませんか	9
2. カッターが止らない	■投入口に紙が引っかかっていませんか →「ストップ」◈スイッチを押しカッターを停止させた後、電源プラグを抜いてから紙を取り除いてください	–
3. 紙を投入すると紙が戻ってきてしまう	■投入している紙の枚数が多すぎませんか →量を減らし、はじめからやり直してください	9

4-2. お手入れ

1. お手入れの前には必ず電源プラグを抜いてください。
2. お手入れは外観の汚れを取るだけにとどめてください。
   機械内部にはカッター、歯車などがあり危険です。
3. 外部の清掃はやわらかい布でからぶきしてください。
   汚れがひどいときは中性洗剤をひたした布をよくしぼってふき、その後やわらかい布でからぶきしてください。

機能	説明	処置
オートリバース	最大細断枚数をこえて紙を投入しますと、一旦停止し自動的に逆回転して、紙をはき出し停止します。	投入口から紙を取出し枚数を適量にして再投入してください。
オートカット	過負荷運転でモーターが過熱すると、オートスタート機能を解除し、逆転もできなくなります。	ランプが消えるまでお待ちください。
とびらスイッチ	とびらを開くと、オートスタート機能を解除し、逆転もできなくなります。	少しでも開いていると、はたらきます。
オーバーフローストップ	くず箱のくずが盛り上がると、オートスタート機能を解除し、逆転もできなくなります。	早目にくず袋を交換してください。
温度ヒューズ	万一モーターが異常過熱したとき、電源をしゃ断し表示ランプもすべて消します。	販売店へ修理依頼してください。

⚠注意

1. 本体をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
倒れるとけがの恐れがあります。

2. 本体の上に物をのせたり、腰かけたり、乗ったりしないでください。
けがの恐れがあります。

3. 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。また、ストーブ等の発熱器に近い場所には設置しないでください。
感電や火災の原因となる事があります。

4. 本体に直接水をかけないでください。（掃除の時など）
感電の原因となる事があります。

5. 機械をベンジン、シンナーみがき粉、タワシ等を使って清掃しないでください。
変型、変色、傷の原因になります。

6. 機械を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
コードが傷付き、感電、火災の恐れがあります。

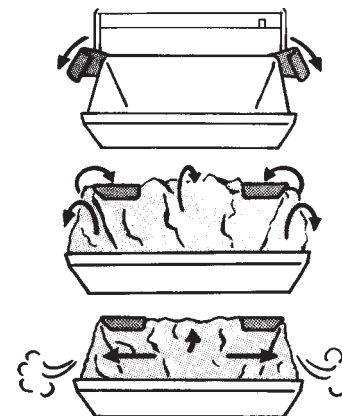
7. 作業が終了したときは、電源を切ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となる事があります。

8. 電源プラグを抜きときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持って行ってください。
コードの断線による火災の原因となる事があります。

1-2. 設置に関して

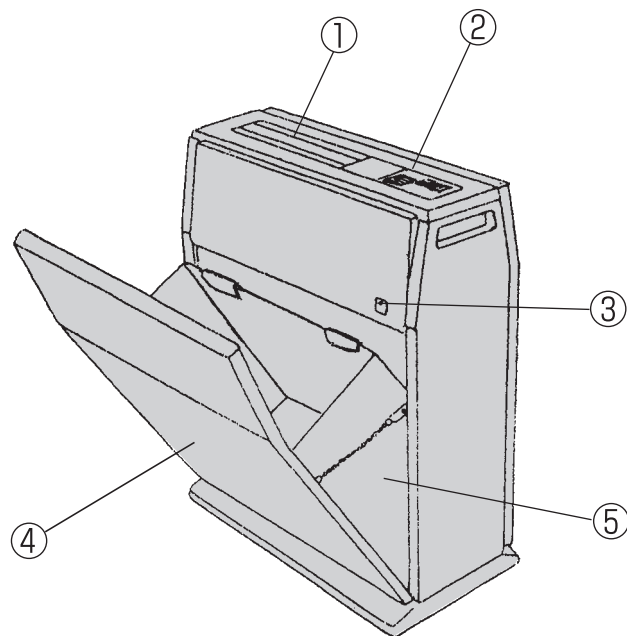
1）〈1-1. 安全に正しくお使い頂くために〉に従い、水平で安全な床の上に機械を設置してください。

2）電源プラグを接続してください。
◯ 電源プラグを（建物備付の）専用コンセントに接続してください。……AC100V, 3.6A

3）くず箱に、MSパックをセットしてください。

○ とびらを開け、くず袋押さえを外側に開いてください。
くず袋をひろげ、袋の底をくず箱の底につけ、袋の口をくず箱の外に折り返してください。
くず袋のたるみは、後ろに集めてください。

○ くず袋押さえで、くず袋の折り返した部分をはさみ込むように止まるまで内側に回してください。

○ くず袋とくず箱の間に入った空気を押し出してください。
くず箱の通気孔から排気されます。

1-3. 各部の名称とその働き

名　　称	各　部　の　働　き
① 投入口	細断する紙をここから入れます。
② 操作スイッチ及び表示パネル	4ページ参照
③ メインスイッチ	「—」を押すと電源がONになります。
④ とびら	くず箱と一体で、メインスイッチのON,OFFとくず処理のとき開けます。
⑤ くず箱	細断くずを収容する箱です。

○ とびらの外し方は、とびらを開いて正面の説明をご覧ください。

3. 安全機能

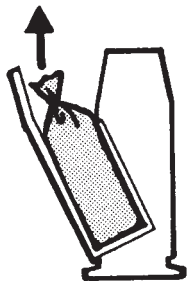
3-1. 安全装置について

MSシュレッダー　には、安全のため電気的に制御された安全機能を採用しております。

機能	説明	解除
オートスタート	スタート/復電 ◇ スイッチを押し、投入口に紙を入れると自動的にカッターが回り細断します。	◎ スイッチで解除できます。
オートストップ	紙が投入口センサーを通過してから4秒以内に次の紙が投入されないと、自動的にカッターが停止します。	カッターが停止してもオートスタートできます。
オートリセット	投入口センサーが10秒間紙を検知しないと、自動的にオートスタート機能を解除します。	◎ スイッチを押した状態になります。
オートパワーカットオフ	オートスタート状態が連続5分以上続く異常状態のとき、自動的にオートスタート機能を解除します。	10ページ「カッターがとまらない」をご覧ください。

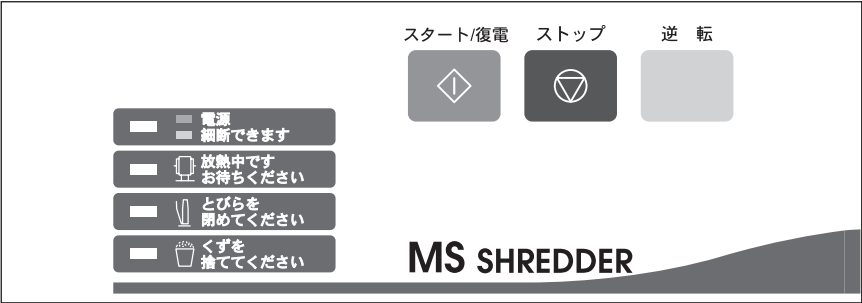
2-2. 細断くずを捨てる

くず箱が細断くずで満杯になりますと、「くずを捨ててください」ランプが点滅しカッターが停止します。

1. とびらを開いて細断くずがくず箱の外に落ちないように、くず箱を手で軽く前後に振ってくずを平らにならしてください。
2. くず袋を押さえ外側に開き、袋の口をしぼってそのまま上に持ち上げて抜いてください。
3. くず箱をもとの状態にセットしなおして、表示パネルの「くずを捨ててください」ランプが消えたこと確認してください。

2-3. 細断物について

金属類、及び以下のものは細断能力を低下させる要因となるため細断しないでください。

・カーボン紙
・化学紙
・ダンボール
・湿った紙
・粘着物のついた紙(粘着テープ付封筒、宅配便の送り状 等)
・OHP等の各種フィルム類
・ビニール袋、ポリ袋
・ゴム、皮革、布類

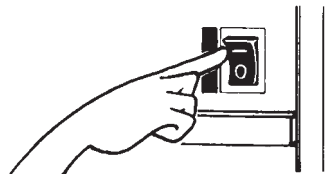
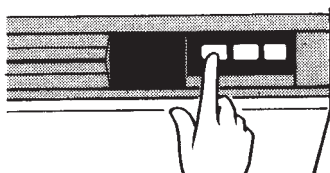
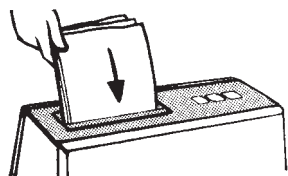
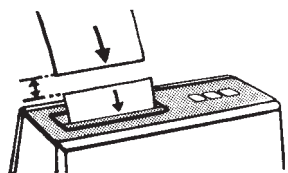
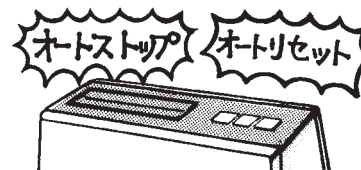
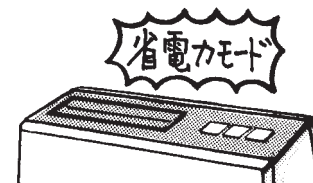
1-4. 操作・表示部の名称とその働き

(操作スイッチ)

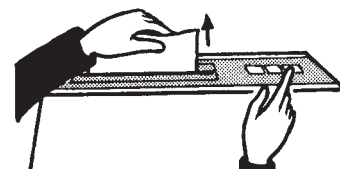
1	スタート/復電	このスイッチを押すと、オートスタート機能がはたらきます。このスイッチを押すと、省電力モードから復帰します。
2	ストップ	このスイッチを押すと、オートスタート機能を解除します。
3	逆　転	オートスタート機能が解除されているとき、このスイッチを押している間だけ、カッターが逆転します。

(表示パネル)

1	赤点灯	電　源	メインスイッチ「—」が押され、オートスタート機能が解除しているとき点灯します。
	緑点灯	細断出来ます	スタート/復電が押され、オートスタート機能がはたらいている間だけ点灯します。
2		放熱中です お待ちください	モータの加熱防止装置が作動している間点灯し、オートスタート機能を解除します。
3		とびらを 閉めてください	とびらが開いてる間点滅し、オートスタート機能を解除します。
4		くずを 捨ててください	くず箱が細断くずで満杯になったとき点滅し、オートスタート機能を解除します。

2. ご使用方法

2-1. 細断方法

1. とびらを開き、メインスイッチの「—」側を押し、とびらを閉めてください。
電源表示の赤ランプが点灯します。

2. スタート/復電 スイッチを押してください。オートスタート機能がはたらき表示ランプが赤から緑に変わります。

3. 細断する紙を投入口中央に入れてください。
カッターが回転し、細断します。
※一度に細断できる枚数（最大細断枚数）は紙質、湿度、電圧等によって異なります。

4. 連続細断するときは、投入の間隔を4秒以下にしてください。
※連続細断は定格細断枚数以下でご使用ください。

5. 最後の紙が投入口を通過してから４秒後にカッターが止まり、10秒後にはオートリセットがはたらきます。

6. 5分間たつと省電力モードになり、全ての電源がOFFになります。
（スタート/復電 スイッチを押してください。オートスタート機能がはたらきます。）

逆転の操作

7. 細断中にストップスイッチ を押し、カッターが停止してから逆転スイッチ を押します。
押してる間カッターが逆転します。